

「摂津市人口ビジョン」「摂津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」【概要版】

摂津市人口ビジョン

平成 27 年（2015 年）～平成 72 年（2060 年）

①将来人口推計と人口動向分析

- 国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、本市の人口は、平成 27 年（2015 年）現在は 85,540 人でしたが、平成 72 年（2060 年）には 5 万人台まで減少する見通しとなっています。
- 近年の大規模開発により人口増加傾向にありますが、将来的には少子高齢化の進行する中では全国的な傾向と同様に人口減少に転じることが予測されます。
- 本市の合計特殊出生率は平成 20～24 年（2008～2012 年）で 1.50 となっており、全国や大阪府の値よりは上回っているものの、人口を維持するのに必要とされる水準（2.07）よりは下回っています。
- 本市では、0～14 歳の子ども、30～44 歳、60～69 歳の年代層が転出超過となっています。特に、0～9 歳、30～44 歳の転出超過が著しく、いわゆる子育て世帯を中心に転入よりも転出が多い傾向が見受けられます。

②人口の将来展望

【自然動態】

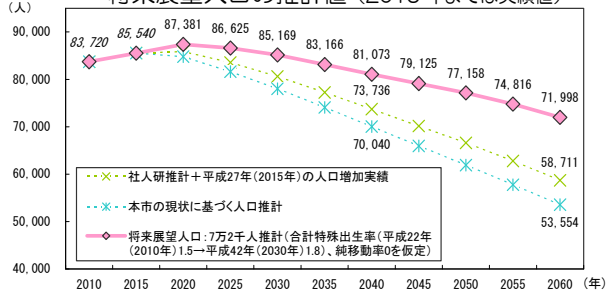
- 合計特殊出生率を平成 42 年（2030 年）までに国民の希望といわれる 1.8 へと年々増加させ、その後、平成 72 年（2060 年）まで同水準を維持することとします。

【社会動態】

- 純移動率については転入・転出の超過 0 をめざします。

上記の仮定を実現することにより、平成 72 年（2060 年）の人口の将来展望を 7 万 2 千人とします。

将来展望人口の推計値（2015 年までは実績値）



③本市の課題

- 暮らしに欠かせない道路網・交通や水・緑等の面で環境のよいまちとなるような取り組みを引き続き推進する必要があります。
- 結婚・出産・子育ての希望を叶えるための環境づくりを追求する必要があります。
- 健康づくりと医療を充実させる必要があります。
- 「安全・安心」をキーワードに住環境を整備する必要があります。
- 産業のまちとしての特性を生かしながら、若い世代や女性の不安定な就労状況を改善する必要があります。

以上の課題を克服し、将来の方向性として
“安心と活力があしたへつながるまち せつつ”
 をめざします。

摂津市まち・ひと・しごと創生総合戦略

平成 27 年度（2015 年度）～平成 31 年度（2019 年度）

（総合計画と総合戦略の関係）

総合計画はあらゆる政策分野における行政運営の基本理念や基本目標を定めるとともに、その実現に向けた推進方策として基本的な施策の方向性を定めるものであり、総合戦略は「まち」、「ひと」、「しごと」の創生による人口減少の克服と地方の創生を目的としています。

「まち・ひと・しごと創生」の推進に当たっては、総合計画に定める基本的な施策の方向性との整合性を図りながら、効果的かつ効率的に取り組んでいきます。

基本目標 1 快適で利便性が高いまち せつつ

[数値目標] ■総人口 5 年間で 1,800 人増加

[基本的方向および施策]

1. 道路が安全で公共交通が便利なまちづくりの推進

- ①道路ネットワークの整備
- ②公共交通の充実
- ③交通安全の取組みの推進

[重要業績評価指標(KPI)]

- ◆都市計画道路の整備率: 76.4%→83.4%
- ◆公共施設巡回バスの1便当たりの平均乗車数: 6.2 人→7.7 人
- ◆交通事故件数: 448 件→310 件 など

2. 良好な地域環境の形成

- ①まちの拠点整備
- ②ゆとりある住環境づくりの推進
- ③既存ストックの利活用

[重要業績評価指標(KPI)]

- ◆北大阪健康医療都市の地区内人口: 0 人→2,000 人
- ◆花いっぱい活動団体数: 33 団体→48 団体
- ◆民間住宅の耐震診断件数(累計): 115 件→213 件 など

基本目標 2 健やかに暮らせるまち せつつ

[数値目標] ■健康寿命 5 年間で 1 歳以上延伸
 (平成 25 年度: 男性 78.48 歳、女性 82.72 歳)

[基本的方向および施策]

1. 市民主体の健康づくりの推進

- ①スポーツや運動による健康づくりの推進
- ②自発的な健康づくりの推進

[重要業績評価指標(KPI)]

- ◆スポーツ施設の延利用者数: 306,225 人→310,000 人
- ◆健康づくり自主グループの数: 50 グループ→95 グループ など

2. 市民一人ひとりの健康と福祉を支える環境づくり

- ①疾病予防の取組みの推進
- ②地域で支え合う総合的な福祉活動の推進

[重要業績評価指標(KPI)]

- ◆悪性新生物のSMR(標準化死亡比): 0.97(平成 20～24 年)→0.91(平成 25～29 年) ※大阪府を1とした値
- ◆校区等福祉委員会が実施するサロンの延参加者数: 12,140 人→13,000 人 など

基本目標 3 子育て・教育への願いをかなえるまち せつつ

[数値目標] ■合計特殊出生率 5 年間で 1.65%まで上昇
 (平成 26 年度: 1.50%)

■出生数 5 年間で 4,200 人

[基本的方向および施策]

1. 安心して楽しく子育てができる環境づくり

- ①教育・保育環境の充実
- ②地域での子育て支援の充実
- ③親と子の健康支援

[重要業績評価指標(KPI)]

- ◆保育所等の待機児童数(10月1日時点): 98 人→0 人
- ◆地域子育て支援拠点の数: 9カ所→11カ所
- ◆乳幼児健診の受診率(4か月児・1歳6か月児・3歳6か月児の平均): 94.7%→98.0% など

2. 子どもの「生きる力」を大切に教育の充実

- ①確かな学力の育成
- ②豊かな心・健やかな体の育成

[重要業績評価指標(KPI)]

- ◆摂津市学力定着度調査、全国学力・学習状況調査における全国平均正答率に対する摂津市平均正答率の割合:
 →(国語、算数、数学)小2～小6、中3ともすべて 100%
- ◆全国学力・学習状況調査で「学校に行くのは楽しい」と回答した児童生徒の割合: 小6 81.5%、中3 69.7%→小6 90.0%、中3 85.0% など

基本目標 4 企業が元気でいきいきと仕事ができるまち せつつ

[数値目標] ■従業者一人あたりの製造品出荷額 3.5%増加
 ■従業者一人あたりの商品販売額 2.0%増加
 ■完全失業率 0.5ポイント改善
 (順に平成 25 年・26 年・22 年比)

[基本的方向および施策]

1. 地域産業の競争力強化と事業所支援

- ①市内中小企業の支援
- ②企業誘致の推進

[重要業績評価指標(KPI)]

- ◆創業支援を受け創業に結び付いた件数: 20 件
 (平成 27 年度からの実施事業)
- ◆企業立地等促進制度適用件数(累計): 32 件→77 件 など

2. 安定した雇用の創出

- ①雇用機会の拡大

[重要業績評価指標(KPI)]

- ◆地域就労支援事業を通じて就業した人数: 27 人→100 人

基本目標 1～4 に掲げる取組みの推進により **“魅力あふれるまち せつつ”** の実現をめざします。